

令和3年10月20日

Kansai-3D 実用化プロジェクト オンラインセミナー 「AM と最先端の周辺技術との掛け合わせによる高付加価値化」

近畿経済産業局が展開する「Kansai-3D 実用化プロジェクト」では、素材、熱処理、3D 造形に必要なガスなど、我が国が強みを有する技術と AM との掛け合わせによる 3D 積層造形技術の実用化を促進するため、オンラインセミナー「AM と最先端の周辺技術との掛け合わせによる高付加価値化」を開催します。

AM : Additive Manufacturing (三次元積層造形技術による製造方式)

1. 趣旨

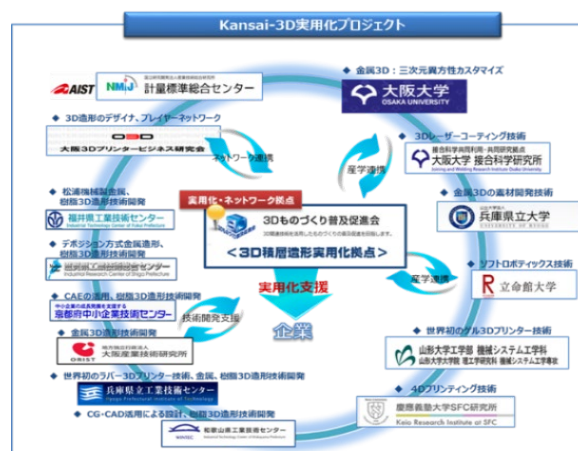
AM を活用した量産化において日本企業が海外と競争していく上で、単に工作機械を 3D プリンタに置き換えるのではなく、日本ならではの強みを有する素材や技術と掛け合わせることで、製品の高付加価値化を図ることが重要です。

このため、近畿経済産業局が 3D ものづくり普及促進会と連携して展開する「Kansai-3D 実用化プロジェクト」では、11 月 18 日（木）にオンラインセミナー「AM と最先端の周辺技術との掛け合わせによる高付加価値化」を開催します。

本セミナーでは、特別講演として、早くから AM 活用に取り組んできた日産自動車株式会社から、激変する環境の中、自動車に対する顧客の多様なニーズに応えるこれからの商品動向とそれを実現する生産技術について解説いただくとともに、プロジェクト協力企業 9 社（素材メーカー 6 社、熱処理メーカー 2 社、ガスメーカー 1 社）との連携により、様々な特徴を持つ素材、後工程の熱処理、金属 3D 造形時に必要なガス等に係る最先端の技術を紹介し、AM の実用化に向けて支援します。

<Kansai-3D 実用化プロジェクト>

当局では、世界でモノづくりを変革させる技術として急速に拡大している「3D 積層造形を活用した量産化」に注目し、2019 年 1 月に 3D ものづくり普及促進会と連携して産学官連携の広域ネットワークである「Kansai-3D 実用化プロジェクト」を立ち上げました。発足 3 年目で、本プロジェクトの会員企業数は全国で 700 社を超え、3D 積層技術を活かした実用化に挑戦する企業の新たなビジネスモデル創出を支援しています。



2. 概要

セミナー「AM と最先端の周辺技術との掛け合わせによる高付加価値化」

日時：2021 年 11 月 18 日(木) 13:30～16:30

会場：オンライン ※YouTube で配信予定

参加費：無料

共催：近畿経済産業局、3D ものづくり普及促進会

申込方法：3D ものづくり普及促進会の以下ホームページよりお申し込み下さい。

<http://welcojp.com/kansai3d/index.html>

3. プログラム（予定）

13:30 開会挨拶

3D ものづくり普及促進会

13:35 特別講演「自動車の商品動向と生産技術～Game Changer となる生産技術～」

日産自動車株式会社

パワートレイン生産技術開発本部 パワートレイン技術企画部

パワートレイン技術統括グループ

エキスパートリーダー(新商品工法開発) 塩飽 紀之 氏

14:05 <協力企業 9 社から特殊素材、冶金、ガスに係る最新技術の紹介 1 社 15 分>

【素材】「チタン積層造形における当社の取り組み紹介」

株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ

高機能材料部 高機能材料営業グループ 参事 菅野 英明 氏

【素材】「金属 3D 粉末の製法と開発事例」

山陽特殊製鋼株式会社

粉末事業部 技術部長 相川 芳和 氏

【素材】「粉末積層造形分野における材料開発事例のご紹介」

大同特殊鋼株式会社

技術開発研究所 溶融成形研究室 室長 杉山 健二 氏

【素材】「AM ならではの材料の開発と AM ソリューションの提供」

日立金属株式会社

金属材料事業本部 AM ソリューションセンター

シニアアドバイザー 大坪 靖彦 氏

【素材】「AMを活用したデジタル製造ネットワークにより、エコマテリアル、エコプロダクトの開発、量産を可能とする強靱なサプライチェーンの構築・実証をめざす」

三菱重工業株式会社

エナジードメイン エナジートランジション&パワー事業本部 GTCC 事業部 AM 事業室

主幹技師 今野 晋也 氏

【素材】「高機能樹脂粒子を用いた 3D プリンティングと真球化による効果」

東レ株式会社

ケミカルプロセス技術部 主任部員 吉川 貴浩 氏

【冶金】「金属 3D 積層造形品における熱処理加工の必要性について」

大阪冶金興業株式会社

代表取締役 寺内 俊太郎 氏

【冶金】「金属技研における量産部品製作に向けた金属 3D プリンタの取組み」

金属技研株式会社

技術本部 テクニカルセンター 主事 増尾 大慈 氏

【ガス】「ガステクノロジーによる AM ものづくり実用化課題解決へのアプローチ」

太陽日酸株式会社

R&D ユニット 山梨研究所 AM 先端技術プロジェクト

プロジェクトマネージャー 尾山 朋宏 氏

16:20 支援策紹介

近畿経済産業局 地域経済部 次世代産業・情報政策課

16:30 閉会

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 地域経済部 次世代産業・情報政策課長 黒木

担当者：砂川、木田

電話：06-6966-6008、FAX：06-6966-6097

